

51. 釣り章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 釣りを釣り方及び釣り場所によって分類し、自分の得意とする釣りがどれに属するか、また、その理由について述べること。	口述または記述		
(2) 次のいずれか1つを選び、その釣り場で用いる釣り具、装備、釣り方、対象魚5種、ポイント及び餌について説明し、その釣りを実演すること。 ア 砂浜の投げ釣り イ 防波堤からの陸釣り ウ 船釣り エ 溪流釣り オ 清流釣り	口述または記述		
(3) ルアー及びフライを用いた釣りについて、釣り具(ロッド、リールなど)の代表的なものをあげ、各部の名称と、その手入れ方を説明すること。	口述		
(4) サオ、道糸、針などの仕掛けによらないで他の道具を用いるか、道具にたよらない原始的な方法で魚をとらえることができること。	実演または報告書の提出		
(5) 適当な方法で魚2種をとらえて、それを見分けること。それらの1つはその場で放し、他の1つはきれいに調理したことを報告すること。	報告書の提出		
(6) 釣りのモラル、釣り場の清掃、釣りに関連する法規、養殖、増殖など資源の保護、及び釣りの安全確保について話すこと。	口述または記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

52. 溺者救助章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 水泳章を有すること。	水泳章の提示		
(2) 溺者を発見した際、ロープ等を溺者まで正確に届くように投げ得ること。	実演		
(3) 次のことができること。 ア 順下とび イ 逆あおり泳法 ウ チンブール(あごの確保)	実演		
(4) 次の方法により、仮想溺者に近接する方法を実演すること。 ア 後方近接法で溺者の背後に近接する イ 潜水近接法で溺者の脚部により、近接する ウ 溺者から抱きつかれたときの離脱方法を知ること(前・後とも)	実演および口述		
(5) 次の方法により溺者を10m運ぶこと。 ア ヘヤーキャリーの方法で イ クロスチェストの方法で ウ ヘッドキャリーの方法で エ ロープで溺者の胸にまわして背部にもやい結び作り、そのロープをひいて	実演および口述		

※水辺・水中・水上の活動については、安全器具(ライフジャケット等)が正しく取り扱えること。

※(3)(4)(5)については、日赤水上安全法救助員養成講習を修了するでもよい。

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

53. 電気章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) ア オームの法則及び電力計算式を示し、電力、電圧、電流及び抵抗との関係を計算例によって説明できること。 イ 直流と交流の原理を知り、それぞれどのように利用されるかを説明すること。	記述		
(2) 自家の電化製品3種以上を選択し、それぞれの消費電力を調査し、1か月の使用電気を計算できること。	報告書の提出		
(3) プレーカーの果す役割を知り、自分の持っている電化製品の電力量を算出すること。	報告書の提出		
(4) 電気工事士法に示されている無資格者の取り扱い禁止事項を知り、説明できること。	口述または記述		
(5) 自家の電気配線、電気設備の状況を調査し、その配線図を正しい製図記号で描くこと。	報告書の提出		
(6) 自家の電気製品の故障の部分を発見し、市販の部品等を使用して修理できること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

54. 天文章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 次の事柄について一般知識を有すること。 ア 銀河系及び太陽系の概要 イ 惑星、恒星、流星、重星、変光星、星雲、星団、星座、ブラックホール ウ 日食、月食、太陽黒点 エ 天の赤道、黄道	口述または記述		
(2) 10以上の星座を知り、その所在を指示し得ること。	口述または記述		
(3) 太陽、月、星による方位発見法を5つ以上知ること。	口述または記述 実演		
(4) 星に関する神話または伝説を3つ以上知ること。	口述または記述		
(5) 地球につき次のことを説明すること。 ア 緯度、経度 イ 自転、公転 ウ 太陽暦、太陰暦、歳差 エ 潮の干満の原因と影響 オ 春分、秋分、冬至、夏至	口述または記述		
(6) 望遠鏡の構造と原理を知り、望遠鏡による天体観測記録を作り提出すること。	口述または記述 報告書の提出		
(7) 日時計を作ること。	作品(日時計)の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印